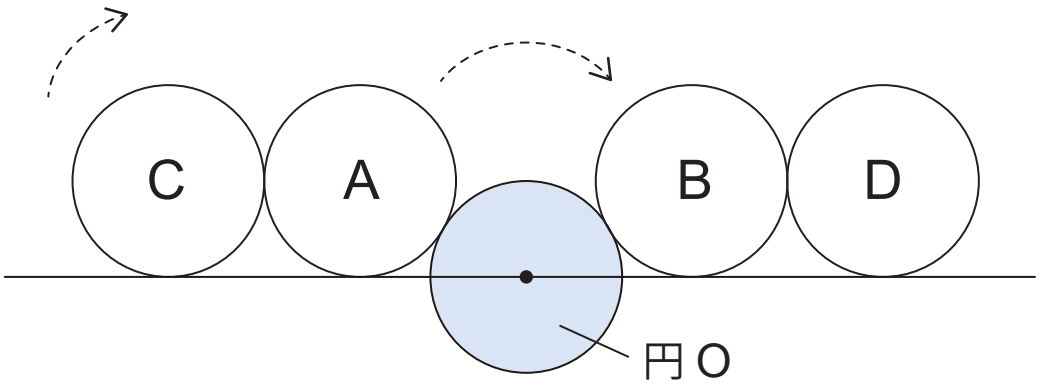直線よりも上の部分を円 O と同じ大きさの円が移動します。A から B まで円 O に接しながら動くときに，円が通る部分を㋐とします。また，C から D まで㋐の部分に接しながら動くときに，円が通る部分を㋑とします。このとき，㋐の面積は円 O の ① 倍，㋑の面積は円 O の ② 倍です。